

新カント派の哲学と近代日本 ——受容と展開

出版記念ワークショップ・シンポジウム

2026.3.21 (土)・3.22 (日) 14:00 ~ 17:45

3/21 講義室 2-1
3/22 120周年アカデミーホール
(両日ともにオンライン参加も可)

近代日本の思想形成に決定的な影響を与えた新カント派。

本書『新カント派の哲学と近代日本——受容と展開』の刊行を記念し、二日間にわたりワークショップとシンポジウムを開催します。気鋭の若手研究者から第一線の研究者までが集い、新カント派研究の現在地と可能性を多角的に検討します。

日本思想史は書き換えられるのか。学際的・国際的視点から、その意義を問い直します。

プログラム

■ 3月21日 (土) ワークショップ

「新カント派を再考する」(仮)

於 講義室 2-1 (オンライン参加も可)

挨拶・趣旨説明 伊藤貴雄 (編者・創価大学教授/
公益財団法人東洋哲学研究所研究員)

発表

「「問い」としての新カント学派」

九鬼一人 (ノートルダム清心女子大学非常勤講師)

「新カント派とは何か、

そして現代においていかなる意義を持つのか?

——ポスト新カント派からの逆照射の試み」

下山史隆 (京都大学大学院博士後期課程/
日本学術振興会特別研究員 DC2)

コメント 辻麻衣子 (京都大学大学院文学研究科特定助教)

玉田龍太郎 (滝川中学校・高等学校教諭)

質疑応答

懇親会 (18:00 ~、事前登録制、会場・会費は当日)

■ 3月22日 (日) シンポジウム

「新カント派で日本の思想史は

書き換えられるか」(仮)

於 120周年アカデミーホール (オンライン参加も可)

本書の概要と意義 伊藤貴雄

メッセージ

マーギット・ルフイン (マインツ大学教授)

ハンス・マーティン・クレーマ (ハイデルベルク大学教授)

基調講演 「日本における新カント派研究の意義と課題」

大橋容一郎 (上智大学名誉教授)

コメント 福谷茂 (京都大学・創価大学名誉教授)

山室信一 (京都大学名誉教授)

ディスカッション

大橋容一郎・山室信一・福谷茂・伊藤貴雄

司会: 芝崎厚士 (駒澤大学教授)

挨拶 田中亮平 (公益財団法人東洋哲学研究所所長)

懇親会 (18:00 ~、洋館大ホール/事前登録制・会費 5,000 円)



伊藤 貴雄 編著
定価 5,800 円 (税込)
978-4-88596-091-8
A5判・688頁+口絵
東洋哲学研究所 2025年

↓書籍の詳細はこちらから



参加のお申し込みはこちら⇒

会場: 駒澤大学深沢キャンパス
東京都世田谷区深沢 6-8-18
アクセス: 東急田園都市線「駒沢大学」駅
下車、徒歩 15分

お問い合わせ:
伊藤貴雄 (itotakao@soka.ac.jp)

主催 駒澤大学グローバルメディアスタディーズ学部
共催 日本学術振興会科学研究費補助金助成事業基盤研究 (B)
「昭和戦前期における新カント派価値哲学の展開・意義・特色
——学際的/国際的研究——」(24K00017)
協力 公益財団法人東洋哲学研究所

